

# かしま 議会だより

第76号

平成26年3月議会号

平成26年5月1日発行

発行/鹿島市議会 編集/議会だより編集委員会

〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



花のトンネル (3月31日)

3月定例会日程と議案 .....	2～3P
議案審議・討論 .....	4～6P
一般質問 .....	7～10P
意見書 .....	11～12P
議会あれこれ .....	14P



定例会

三月定例会

平成26年 鹿島市議会  
3月定例会会期日程

1、会期  
自 平成26年3月3日  
至 平成26年3月26日

2、日程  
【3月】

- 3日・開会  
・会議録署名議員の指名  
・会期の決定  
・議案の一括上程
- 4日・休会（議案研究）  
・市長の提案理由説明  
・発言内容通告締切（正午）
- 5日・議案審議、質疑、討論、採決
- 6日・議案審議、質疑、討論、採決
- 7日・休会（議案整理・研究）
- 8日・休会
- 9日・休会
- 10日・常任委員会（議案）
- 11日・新年度予算審査特別委員会（現地調査）
- 12日・新年度予算審査特別委員会
- 13日・新年度予算審査特別委員会
- 14日・新年度予算審査特別委員会「中学校卒業式」
- 15日・休会
- 16日・休会

議案

- 18日・新年度予算審査特別委員会「小学校卒業式」
  - 19日・一般質問（2名）
  - 20日・一般質問（3名）
  - 21日・休会
  - 22日・休会
  - 23日・休会
  - 24日・一般質問（3名）
  - 25日・休会（議案整理・研究）
  - 26日・委員長報告、議案審議  
・質疑、討論、採決  
・閉会
- 継続審査議案等  
 (1) 議案第67号 鹿島市名誉市民条例の制定について  
 市長提案議案等  
 (2) 報告第1号 専決処分事項の報告について（閉会後に発見する予算その他の誤りの訂正）  
 (3) 報告第2号 専決処分事項の報告について（交通事故による損害の賠償）  
 (4) 議案第1号 平成26年度鹿島市一般会計予算について  
 (5) 議案第2号 平成26年度鹿島市公共下水道事業特別会計予算について  
 (6) 議案第3号 平成26年度

定例会

- 鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計予算について
- (7) 議案第4号 平成26年度鹿島市国民健康保険特別会計予算について
- (8) 議案第5号 平成26年度鹿島市後期高齢者医療特別会計予算について
- (9) 議案第6号 平成26年度鹿島市給与管理特別会計について
- (10) 議案第7号 平成26年度鹿島市水道事業会計予算について
- (11) 議案第8号 鹿島市産業活性化施設設置条例の制定について
- (12) 議案第9号 鹿島市水道事業の剰余金の処分等に関する条例の制定について
- (13) 議案第10号 鹿島市特別職の職員で非常勤のものの報酬並びに費用弁償支給条例の一部を改正する条例について
- (14) 議案第11号 鹿島市職員給与条例の一部を改正する条例について
- (15) 議案第12号 鹿島市税条例等の一部を改正する条例について
- (16) 議案第13号 鹿島市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例について

- 教育委員に関する条例の一部を改正する条例について
  - (17) 議案第14号 平成25年度鹿島市一般会計補正予算（第5号）について
  - (18) 議案第15号 平成25年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）について
  - (19) 議案第16号 平成25年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について
  - (20) 議案第17号 平成25年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について
  - (21) 議案第18号 平成25年度鹿島市給与管理特別会計補正予算（第1号）について
  - (22) 議案第19号 平成25年度鹿島市水道事業会計補正予算（第2号）について
- 議員提案議案等  
 意見書第1号 TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）交渉に関する意見書（案）  
 意見書第2号 有明海再生のために佐賀・長崎両県との協議の早期実施等を求める意見書（案）

次の事を審議し決定しました

【3月定例会】

議案番号	議案内容	中村一堯	稲富雅和	勝屋弘貞	竹下勇	角田一美	伊東茂	光武学	徳村博紀	福井正	水頭喜弘	橋爪敏	中西裕司	松尾征子	松本末治	松尾勝利	採決結果
議案第67号	(継続審査議案)鹿島市名誉市民条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長 賛成全員 修正可決
議案第1号	平成26年度鹿島市一般会計予算について	×	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	×	×	○	○	同上 賛成多数 原案可決
議案第2号	平成26年度鹿島市公共下水道事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	同上 賛成多数 原案可決
議案第3号	平成26年度鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	同上 賛成多数 原案可決
議案第4号	平成26年度鹿島市国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	同上 賛成多数 原案可決
議案第5号	平成26年度鹿島市後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	同上 賛成多数 原案可決
議案第6号	平成26年度鹿島市給与管理特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	同上 賛成多数 原案可決
議案第7号	平成26年度鹿島市水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	同上 賛成多数 原案可決
議案第8号	鹿島市産業活性化施設設置条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上 賛成全員 原案可決
議案第9号	鹿島市水道事業の剰余金の処分等に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上 賛成全員 原案可決
議案第10号	鹿島市特別職の職員で非常勤のものの報酬並びに費用弁償支給条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上 賛成全員 原案可決
議案第11号	鹿島市職員給与と条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上 賛成全員 原案可決
議案第12号	鹿島市税条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上 賛成全員 原案可決
議案第13号	鹿島市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上 賛成全員 原案可決
議案第14号	平成25年度鹿島市一般会計補正予算(第5号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	同上 賛成多数 原案可決
議案第15号	平成25年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上 賛成全員 原案可決
議案第16号	平成25年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上 賛成全員 原案可決
議案第17号	平成25年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上 賛成全員 原案可決
議案第18号	平成25年度鹿島市給与管理特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上 賛成全員 原案可決
議案第19号	平成25年度鹿島市水道事業会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上 賛成全員 原案可決
意見書第1号	TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)交渉に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上 賛成全員 原案可決
意見書第2号	有明海再生のために佐賀・長崎両県との協議の早期実施等を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同上 賛成全員 原案可決

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席 ※…(監査委員のため審議に参加できない)



議案審議

議案審議

議案第1号 平成26年度鹿島市一般会計予算について



勝屋 弘貞 議員

質問 家庭の教育力、市民意識の向上といった点で、26年度予算においてどのように反映されているか？

答弁 家庭の教育力向上については数字的にこの事業を当てているという



松尾 征子 議員

議案第1号 平成26年度鹿島市一般会計予算について

就学援助金の引き下げは止めて

質問 鹿島市は、就学援助金の基準額を下げることで新聞で明らかになった。基準が下がるのは、生活保護基準が下がるので結果的に下がるという事。下がることに変わりはない。子ども達は、家庭の所得等に関わらず、

均等に教育を受ける権利を保障されている。これからの教育を考えれば、大きな問題。引き下がった分、教育長の力で予算を獲得してもらいたい。

議案第1号 平成26年度鹿島市一般会計予算について



徳村 博紀 議員

本市の財政状況は大丈夫か？

質問 平成26年度の経常収支比率が空欄になっている。最終の数字が確定していないので空欄になっていると思うが、平成26年度の最終予算見込みが147億円と試算さ

れている。多久市は平成24年度96%と県内で一番悪い数字だったが、先日もらった資料で本市はこの数字を超えていた。平成26年度の経常収支比率は何%になると試算されているのか？

答弁 平成25年度で95%、平成26年度見込みで97%と試算している。



橋爪 敏 議員

議案第1号 平成26年度鹿島市一般会計予算について

質問 平成26年度一般会計予算は、総額135億8900万円となっているが、ニューディール関連予算はいくら計上されているのか。また産業の取り組みは。

答弁 産業の取り組みは、新商品の開発などを指す市内各産業のプロの交流の場づくり。発酵で包んだまちづくり。酒蔵ツーリズムの通年型の構築と食との連携。中小企業相談事業の拡充。中山間地集落対策等である。

議案第1号 平成26年度鹿島市一般会計予算について



中西 裕司 議員

質問 市政の運営は公平公正公開の原則だ。特に市民との関係で自治基本条例の制定準備はされたか。議会は議会基本条例を制定して地方自治の二元性の一元を備うべく開かれた議会を目指している。市民の期待はピオで

はない。不動産取得に至る手続が不適切と認めらるなら関連する予算は見直すべきだ。再発防止にどう努めるか。企業誘致が出来ない原因は高速道路へのアクセス道路がない事。国県への期成会の要望活動は充分か。市民の期待はそれだ。

答弁 不適切な手続きだった。再発防止を心掛ける。要望活動は今後も充分行なう。

議案審議

中川内く広平線の道路改良工事着工の遅れについて



角田 一美 議員

議案第14号 平成25年度鹿島市一般会計補正予算(第5号)について

質問 自主防災組織へ資機材購入予算は計上されているが、今後は防災訓練の実施が必要と思う。防災訓練に対する市の考えは。

自主防災組織への助成について

水頭 喜弘 議員



議案第14号 平成25年度鹿島市一般会計補正予算(第5号)について

答弁 これまで設立することを重点的に進めてきた。これからは避難訓練をどのようにやっていくのか。市も計画的に避難訓練等の実施の検討をしていかなければならない。地域によって避難訓練の種類が違う。山間部においては土砂崩壊の避難訓練、平野部については浸水に対する避難訓練をしていかなければならない。地域にあった避難訓練を計画的に策定しながら、



周知を図ると共に実施に向けて進めてまいりたい。

質問 平成24年度から道路改良工事に着手しているが、25年度も工事費予算が執行されず多額の予算が減額補正されているのは何故か。

答弁 地権者の同意はほぼ得ているが計画区間に4カ所大臣指定の保安林があり、指定解除の条件が厳しい為潰れ地を少な

佐賀県後期高齢者医療広域連合議会 2月定例会報告

佐賀県後期高齢者医療広域連合議会議員 角田 一美

去る2月17日に定例議会が開催され、平成26年度一般会計及び後期高齢者医療特別会計の歳入歳出予算(案)と今後2カ年の保険料率を改正する条例(案)が可決決定された。

歳入歳出予算総額は、1,188億8,932万4千円、前年度比1億3,214万3千円(0.1%)の増。被保険者数1,730人の増、1人当たり医療給付見込額が98万4,049円、対前年度比10,972円(1.13%)の増加が見込まれている。

保険料率改正で所得割率9.6%から9.88%へ、均等割額は49,500円から51,800円に改正され、1人当たりの保険料額は年額57,846円となる(月額4,821円・月額79円増)。

保険料賦課限度額は55万から57万円へ増額された。

平成26年度予算審査特別委員会報告

委員長 橋爪 敏

去る3月6日の本会議において付託された鹿島市一般会計予算、公共下水道事業特別会計予算、谷田工場団地造成・分譲事業特別会計予算、国民健康保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算、給与管理特別会計予算、水道事業会計予算の7議案について、3月11日議案関係4カ所の現地調査を行なった。

12日から18日までの5日間市長をはじめ副市長、担当部課長、担当職員の出席を求め、正副議長を除く13名の議員による新年度予算特別委員会を開催し、慎重に審査を行なった。

一般会計予算は総額135億8900万円で、第5次総合計画推進のための重要な政策的事業(定住促進、子育て支援など)の実現に向け、地域における中核都市としての復活を目指す「鹿島ニューディール構想実現型」の予算となっている。

また、各部ごとに担当部課長より、予算説明資料により、予算と主な事業等について説明があり、ただちに質疑に入り数多くの質疑があった。質疑終了後、討論、採決の結果、平成26年度各会計新年度予算は、第1号議案は賛成多数、2~7号議案は賛成全員で原案のとおり可決された。

委員会報告



討論

議案第1号7号  
賛成討論

角田 一美議員  
小中学校の耐震化事業や東部中学校改築事業、地方都市リノベーション事業等、年度当初から積極的に対応を要する継続的関連予算を計上し、国・県と連携した補助事業や単独事業を有効に組み合わせ産業基盤

の強化、都市基盤の整備、市民生活の利便性向上など都市機能の充実を図ることとされている。今後、産業活性化施設「海道（みち）しるべ」を活用した農工商連携による地域産業の活性化が大きく期待されている。行政改革、歳出削減に加え税金など自主財源の確保に努め効率的事業運営により鹿島市政、浮揚を期待する。

議案第1号  
反対討論

松尾 征子議員

入札時、法に触れることをして陳謝するだけでやり直しもせずにそのまま事業を続けようとしている「ピオ」関連の予算案を削除する事を要求しませんでした。いまだに続けられている活動費丸抱えの同和団体補助は直ちに止めるべきだ。

民の大切な血税である。「ピオ」への約10億もの金があれば、「国保税の引き下げ」など市民の要求が数多く実現できる。消費税増税など市民生活が大変になるうとしてい



議案第1号  
賛成討論

竹下 勇議員

平成26年度予算は、特別委員会において6日間にわたり、市長をはじめとする執行部に対し、各委員質問をおこない慎重に審議を重ねた。26年度当初予算は、骨格予算でありながら東部中学校の改築をはじめとする学校の耐震補強事業や、ニューデイル構想による事業など、国・県補助を活用する継続事業を含む為、昨年度当初予算

議案第1号  
反対討論

中村 一堯議員

一般会計予算について鹿島市の多くの事業が含まれていて、市民のためにやってほしい事業が多々ある。しかしながら、今回の予算には問題点の多いピオ事業が含まれている。入札の問題、アス

より7.4%増加はしているものの、補助事業の活用や公共施設建設基金の投入や起債を利用することで、単年度に過度の負担がかからないようになっていく。それらの事を総合的に判断して賛成をする。



議案第1号  
賛成討論

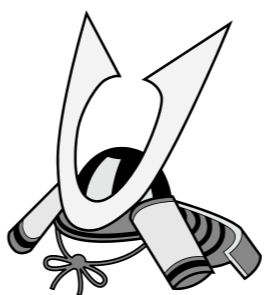
勝屋 弘貞議員

樋口市政の4年間。国・県・民間、様々な繋がりが構築され、近隣はもとより全国的にも注目される鹿島市となった。周回遅れだった鹿島市が、先を行く近隣の背中に徐々にはあるが近づいてきているのではないかと

議案第1号  
反対討論

中西 裕司議員

市民生活に及ぶ福祉介護子育て教育等の予算に反対するのではない。本来は修正動議の提出で信を問うべき。前年度繰越予算でピオ関連が含まれているので反対する。ピオ3・4階の不動産鑑定業者選定入札契約の継続が不適切であったと副市長は議会で陳謝している。その手続は無効であり違法だ。撤回してや



一般質問

一般質問

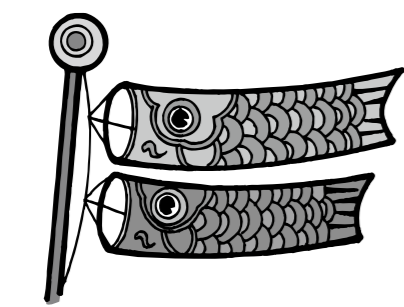
ピオ事業について



中村 一堯議員

質問一 ピオ事業について、これまでに何回も議論されてきたが、どうしても一市民として一議員として納得できない部分があるので、質問する。このピオ事業では多くの問題点が露呈してきた。例えば、アスベストの問題、入札の問題、さらには費用対効果の問題など非常に疑問が多い。去る2月25日の「鹿島市議と語る鹿島の未来」という意見交換会の中でも90%以上の参加者が反対意見であったし、3月13日には市民団体から住民訴訟の前提となる住民監査請

求も提出された。今後まだまだ議論されることと思う。ここで市長に尋ねて、これまでの状況を踏まえて、ピオ事業をすることが今後の鹿島市のためになるのか改めて樋口市長の考えをお聞きしたい。また現在に至るまでのこの多くの問題点を市長はどう考えているのか。経過は別としてピオに公的な施設をまとめて移転する構想に間違いはないと考えている。そういう事業が必要。鹿島のセンターラインにこういった機能を持った施設を作らなければいけない。30年経過したピオの建物でもテコ入れをすれば、長寿命化できる。



ない会社を入札に加えている。副市長から不適切な事務があったと謝罪も述べられている。しかも建設業法第20条では、建設工事には必ず積算内訳書が必要と明記されているにも関わらず、今回はその書類も提出されておらず、結果的に入札の条件に誤りがあり、公平公正な入札や事業が行われていない。大きな問題と考えているが、どう考えているのか。

質問二 今回の入札には積算内訳書の提出を求めているが、不適切な入札にならないように今後気を付ける。

学力向上について



稲富 雅和議員

質問一 基礎学力を高めることは大事なことで今後もコツコツとやっていく必要がある、今の現状の流れで一つの手段としてタブレット等が必要と思う。取り組みと考えを伺う。

質問二 子供達には教育の機会を作ってやりたい。県先進的ICT利活用推進補助金で電子黒板を2カ年に渡り整備をしていく。

タブレットはすべての子供達に配布するのではなく、1クラス分を整備していきたいと考え、教育的にも効果があると思う。

定住奨励金について

質問二 市外からの転入者に対しての奨励金について、現状どんな考えをもっているのか。

質問一 基礎学力を高めることは大事なことで今後もコツコツとやっていく必要がある、今の現状の流れで一つの手段としてタブレット等が必要と思う。取り組みと考えを伺う。

質問二 子供達には教育の機会を作ってやりたい。県先進的ICT利活用推進補助金で電子黒板を2カ年に渡り整備をしていく。

タブレットはすべての子供達に配布するのではなく、1クラス分を整備していきたいと考え、教育的にも効果があると思う。

酒米生産への可能性について

質問三 鹿島産の米で出来た鹿島産の酒を「日本酒で乾杯条例」につなげたいという思いがあり、

現在の酒米の生産状況、そして蔵元からの要望数量や生産拡大に向けた取り組みは。答弁 酒造りの好適米は「山田錦」で25年度12戸、16・6ha、40t生産されている。蔵元からの要望は市内6蔵で105・8tが県の酒造組合に要望数量としてあげられている。JAが事務局を持つ山田錦研究会が中心に生産している。山田錦は草丈が高く、粒が大きいため倒伏しやすく、出穂期の揃いが悪く、登熟期でのバラツキ等により屑米の発生が多く品質に年次差が大きい。課題をしっかりとクリアして、JA、県、生産者と連携しながら、安定生産技術の確立を進めて行きたいと考えている。





一般質問

樋口市政の4年間を問う



勝屋 弘貞議員

質問一 退職予定部課長に問う。樋口市政の4年間を振り返って評価は。

答弁 先日、新聞で「酒蔵ツーリズム」が成功事例として取り上げられた。連携の大切さに気付かれ新たな動きもあり、異種異業種・農工商連携、6次化の見本となった。

自然素材にこだわった世界各地に進出されている化粧品会社で、市内3つの素材を使い開発が進んでいる。鹿島の名前が世界中に広がることを期待している。

大都市圏での地元産品流通の強化にも取り組み成果が出ている。「全国道の駅大会」の成功は、国県市の極めて良好な関係ができたから。関係機

関との連携を今後も深めていく。課題として、海外戦略、有明海の改善、中山間地の死守。まずは鹿島を知っていただくことが大切。

質問二 市民交流プラザ・新世紀センター・市民会館についての考えを問う。

答弁 市民交流プラザのキーワードは「誰でも・いつでも・気軽に」。子育て支援・老人福祉センター・公民館がスペースを共有し、自然発生的な世代間の交流を期待する。高校生らが学習できる学習室も完備し、できるだけ土日・5時以降の利用も検討中。市外から、また色々な団体が利用でき、交流人口の増加を見込める。

新世紀センターの建設場所については専門家の意見を入れながら、利便性・利活用を考慮に入れ、

早急に総合的に検討する。市内主要団体等の代表者20人で構成された「市民会館建設研究会」で5回の委員会が開催された。建設の是非も含め活発な議論をし、報告書を新年度早々に市長へ提出する運びとなっている。



第5次総合計画の進捗状況は



竹下 勇議員

質問一 第5次総合計画や財政計画は順調か。

答弁 総合計画は24年度末の事業費ベースで44%程度の進捗で順調である。又、財政面では今後市債は増えていくが、ピーク時で建設に係る市債が83億円程度と見込まれ樂觀できないが危機的状況ではない。

質問二 新エネルギーの活用は積極的に行うか。

答弁 現在改革中の東部中学校に太陽光発電を設置する。今後、公共施設への設置は、少水力発電等と併せて検討したい。

質問三 教育改革について国の検討はどこまで進んでいるか。

答弁 全国で土曜授業は、小学校で1801校、中

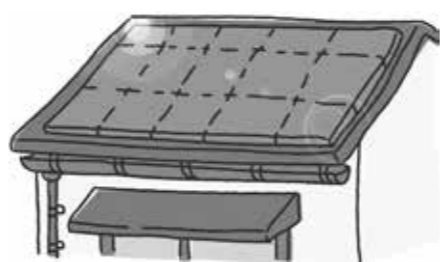
学校で966校開催。今後土曜日授業の開催、教育長と教育委員長を統一し市長が任命・罷免する方向で法整備が進められる。

質問四 防災センター建設と防災無線についての考えは。

答弁 防災センターの建設場所は、原案（大駐車場）にこだわらず庁舎・エイブル・市民会館など全体的な配置を考慮し再検討する。防災無線のデジタル化は、基本設計が終わりスピーカーの場所は37カ所から74カ所に増設する。提案のあった移動系無線の山間地をカバーする為に公用携帯無線の導入も検討したい。

質問五 市民交流プラザや中心市街地の活性化にどう取り組むか。

答弁 現在の福祉会館にある鹿島公民館や老人福祉センターの機能だけでなく、新たに調理実習



室・風呂・会議室の増加で集いの場を広げる。また子育てセンターやすこやか教室を充実し誰もが年代を超えて自由に交流できる空間づくりをしたい。建物外には、屋外市場的な物売りを模索したい。

質問六 60周年記念事業はどうなっているか。

答弁 「先人の偉業を振り返る」「物作りに焦点を」「子供たちに夢を」「市民参加」を4つの柱とし、各種関連事業を取り組み、10月26日にメイン事業を催す。各種の記念行事は市報4月号より適時お知らせをしていく。

一般質問

人口減少時代への今後の施策



福井 正議員

質問一 鹿島市の出生率は平成24年1.76と全国平均1.39より高いが、人口減少傾向である。この状況を打開するには、さらなる子育て支援策が必要だと思ふ。他自治体で取り組まれている「子育て支援条例」制定の考えは。市民交流プラザでの子育て支援策は。住民・高齢者の子育て参加は。

答弁 「子育て支援条例」は今後設置する、子供子育て会議で議論をして検討したい。市民交流プラザの3階に老人福祉センター機能、4階に常設の広場をもった子育て支援センターを考えている。そこでは家庭で子育て

てしている人達に、親子で自由に利用してもらい、親子のふれあいや親同士のつながりを広げてもらう。妊娠中の方も利用してもらい、母親同士の交流を通じて、不安の解消につながると思う。また広場には遊具や文庫を設置し、自由に遊べる場所にしたい。小中高生も自由に利用できる施設にしたい。子育て支援センターの現在の職員は、常勤2名臨時2名であるが、広さに応じた職員が必要。



就業対策

質問二 高速道路に繋がっていない状況で、企業誘致が困難な状況。定住者を増やすには、企業誘致が必要だと思ふ。商業では、後継者がいない事業者が70%程度ある。このまま推移すると、鹿島の活力が失われ、人口減少につながる恐れがある。この状況を打開するには、有明海沿岸道路や国道498号の高規格化、後継者対策が必要だと思ふが考えは。

答弁 有明海沿岸道路は県や国交渉への要望に書き込んでもらった。498号は、武雄市嬉野市とスクラムを組んで取り組む。後継者については、平成19年のアンケート調査で後継者が決まっているのが20%程度、50%が考え中であった。空き店舗対策等の取り組みはしているが、現在計画はない。

新世紀センター(仮称)について



水頭 喜弘議員

質問一 建設場所については、市の大駐車場となっているようだが現在でも駐車場は手狭で問題があるのに、建設されるとなると40台分以上のスペースが減少するようになる。建設場所については以前から提案しているように福祉会館の場所がすべての面においてベストな条件であると思ふが。

答弁 新世紀センターの場所については防災センターとして機能しなければならぬ。場所についてはアクセスの問題がある。必ず大駐車場に作らなければならぬということだけでなく福祉会館の場所等についてもきちっとしたアクセスとしての機能

的な整理が出来れば検討する余地はある。討論する余地はある。

道路問題

質問二 国道207号バイパス化に伴い東部中から右折して国道に出る、また給食センターからは、地域の皆さんも安全面で非常に心配されている。今後の方向性は。

答弁 市道との交差点については県と公安委員会とで協議が行われている。中央分離帯を設ける条件になっている。11カ所すべて封鎖になると通り抜けもできないし、右折も出来ないし地区が分断されることになる。緊急車両等の通行が出来なくなり、消火活動にも支障をきたすことになる。特に5カ所については東部中給食センターのある交差点については右折できなくなり業務できなくなるので解放してもらおうよう



に県の方に要望している。質問三 市道への移管が決定している国道207号について、移管されるまでに整備が必要な箇所が存在する。特にしめご交差点付近の通学路の待機場所が必要と考える。緊急のためのスペースが必要であると思ふが。

答弁 小舟津地区の歩道設置について、207号歩道設置については用地を伴った整備はしないと



樋口市政を市民はどう評価するか



中西 裕司 議員

質問 古小の樋口校長は卒業生に一瞬一生の言葉を贈る。市政運営も同じ。樋口市政を市民はどう評価するか。税金のムダ使いでは。行政評価のシステムもない。箱物行政はだれでも出来る。市民の期待はピオの買取修理ではない。不動産鑑定評価をめぐる不適切な手続きは副市長も認める所。適正適法な手続きがなされないとは。まずピオ取得が先でその利用活用はすべて後づけ。子育てや長寿者は大地や緑や風の中で育むべき。また中心市街地の活性化に繋がると言いわけするが何ら協議がない。事前の計画がなくその場限りの積み重ねである。国交省の補助

申請は平成11年の計画書を提出。2核1モデル構想であり現在とは異なる。今構想は決裁中とか。それでいいののか。県の出先機関の再編問題は土木農林の両機能を残す手だてとして(仮)新世紀センターに併設して鹿島に残ってもらうとする。結果は土木は武雄に農林は鹿島にと機能分担。方針とはちがう。市長の説明責任あり。経過説明がなく不透明でありその後の対応も不十分だ。既成事実化を優先して市民の意見を聞かない。位置でも意見が分かれる。充分な議論が必要である。道路事情の対策はどうか。企業誘致が出来ない理由にアクセス道路の不備を指摘されたとの事。鹿島武雄間の走行性の高い道路は?期成会の活動は?市民の期待はそれだ。期成会の意見はそれぞれなので近隣との協議を始

めよ。思惑はちがう。答弁 市政の手續は適正かつ適法で遵守され市民に公開であり市民本位である。一握りの利益ではなく定住する市民が大事。校庭の芝生化Bグラウンドの人工芝生化等研究課題は多い。太陽光発電事業のファンド化。ピオのエレベーター工事は始まる。道路は期成会を通じて要望活動を行う。中心市街地計画は決裁を待つ。



交通網の整備



松本 末治 議員

質問一 国道207号バイパス整備で地区分断への対応:中央分離帯が設置され通路閉鎖。区を分断される事態が発生する久保山・南川区等、特に石木津川内線は工場団地もあり交通量も多い。利用交通車両への利便性向上対策をどう考えられているか。答弁 市道沿線には、大村方・谷田工場団地があり、交通量が多い。又、国道沿いには、消防車庫があり、閉鎖は緊急時の出動に影響がでる。県には検討して頂く様お願いしている。

質問二 JR肥前浜駅の未来構想(鹿島の酒蔵と祐徳稲荷神社)について。肥前浜駅の歴史は濱地区の昔の繁栄の凄さを物語っている。蒸気機関車の水の補給基地、又、産業の酒造・漁業の二大産業を中心に、酒は鹿島の大半を製造し、漁業は朝鮮出漁こそが語り継がれるべき浜町漁民の栄光の歴史である。今後未来において「浜駅」を長崎本線が上下分離方式になった時には、特急の始発終着駅として、博多まで一時間、佐賀駅まで20分圏内の確保が必要だと考えるか。答弁 肥前浜駅には毎週土曜日にJR九州クルーズトレイン「ななつ星」が停車し、毎週歓迎行事を行なっている。今後肥前浜宿や祐徳稲荷神社散策の起点とする肥前浜駅から始まる旅の提案をしている。



質問三 関東大学「東京箱根」駅伝チーム等合宿誘致事業の効果は。答弁 大学合宿中に「陸上教室」「合同練習」「幼稚園児との交流会」等を実施して頂き、市民との交流が深まっている。選手達は「施設が充実している。食事が美味。人が優しい」と評価を受けている。質問四 鹿島で合宿してもらって鹿島にどのような経済効果があったか。答弁 市の負担は、交通費宿泊費の半額で上限は1チーム100万円。食事代激励会等で100万円の投資は3〜4倍の経済効果があつている。(宿泊は市内に限る。)

意見書第1号

TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)交渉に関する意見書

TPP交渉は、2013年末までの妥決を目指すとして進められてきたが、2013年12月にシンガポールで開催されたTPP閣僚会合では、市場アクセス、知的財産、環境、国有企業などの難航分野で交渉参加各国の主張の隔たりが埋まらず、妥決を断念し、引き続き協議を続けていくこととなった。

首相をはじめ政府の主要閣僚は、TPP交渉に関する国会の決議を守るとの交渉姿勢を堅持しており、当該決議は実質的な政府方針となっている。今後とも国益をかけた極めて厳しい交渉が続くと予想されるが、政府はいかなる状況においても、国会決議を守る姿勢を断固として貫かなければならない。

他方では、交渉が大詰めを迎えているとされる今もなお、交渉内容について十分な情報は開示されないままである。TPPは、食の安全、医療、保険、ISD条項など、国民生活に直結する問題であることから、国民に対する情報開示は必要不可欠であり、早急に十分な情報を開示すべきである。

以上を踏まえ、政府に対し、TPP交渉において下記の事項を必ず実現するよう、強く要請する。

記

- 1. TPP交渉において、TPPに関する国会決議を必ず厳守すること。
2. TPP交渉に関する国民への情報開示を徹底すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年3月26日

佐賀県鹿島市議会

内閣総理大臣 安倍晋三様
衆議院議長 伊吹文明様
参議院議長 山崎正昭様
外務大臣 岸田文雄様
農林水産大臣 林芳正様
経済産業大臣 茂木敏充様
内閣官房長官 菅義偉様
TPP担当大臣 甘利明様



# さかぐら 鹿島酒蔵ツーリズム2014

## 発酵まつり

3月30日 スカイロード商店街



## 100年さくら祭り

平成26年3月26日 鹿島高等学校赤門前



### 意見書第2号

#### 有明海再生のために佐賀・長崎両県との協議の早期実施等を求める意見書

国は昨年12月福岡高等裁判所の確定判決に基づいて実施すべき開門調査を、長崎地方裁判所での開門差し止め仮処分決定により相反する義務を負うとして、実施できないとの判断を示した。また、それにもなう原告側の間接強制に対しても全面的に争う異議申し立てを行うなど裁判を長期化させており、解決の糸口さえ見出せない状況である。

このような中、有明海の佐賀県鹿島地区では、25年度のノリ養殖は早期のプランクトン発生によって色落ち被害が生じ、水揚高が昨年の7割まで落ちている。また、タイラギ生産も貝の生息がほとんど確認できず2年続けて休漁となり、今後の漁家経営に大きな不安が生じている。

裁判を長期化させることは、開門調査による有明海再生に望みを託している漁業者の就業意欲を失墜させるばかりか、有明海のもつ再生能力をも減退させかねない。

国は、このような事態を真摯に受け止め、一刻も早く佐賀・長崎両県との話し合いによる解決の方策を示し、有明海再生のための開門調査が早期に実施できるよう下記のとおり強く要望する。

#### 記

1. 深刻な漁業被害が生じていることをふまえ、事実に基づく現地調査を早急に実施すること
2. 国が話し合いによる解決を模索しているのであれば、まず長崎県側の理解を得ることが必要であり開門のための対策工事等について安全面など納得させる方策を示すこと
3. 干拓事業は国が主体的に取り組んだ事業であるとの認識をもって、両県との協議を積極的に進めること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年3月26日

佐賀県鹿島市議会

内閣総理大臣 安倍晋三様  
 衆議院議長 伊吹文明様  
 参議院議長 山崎正昭様  
 農林水産大臣 林芳正様  
 環境大臣 石原伸晃様

# 議会あれこれ

(平成26年1月～3月)

## 1月

- 10日 議会だより編集委員会
- 14日 第209回佐賀県市議会議長会
- 17日 議会だより編集委員会  
全員協議会
- 24日 総務建設環境委員会
- 30日 九州市議会議長会第4回理事会

## 2月

- 3日 議会運営委員会  
鹿島ニューディール構想調査特別委員会
- 5日 全国市議会議長会第96回評議員会
- 10日 全員協議会  
鹿島ニューディール構想調査特別委員会
- 12日 広域行政圏市議会協議会第45回総会
- 17日 議会運営委員会  
佐賀県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 18日 鹿島ニューディール構想調査特別委員会  
行政視察（～20日まで）
- 21日 全員協議会  
総務建設環境委員協議会  
文教厚生産業委員協議会
- 26日 鹿島藤津地区衛生施設組合議会2月定例会  
杵藤地区広域市町村圏組合議会2月定例会  
佐賀県西部広域環境組合議会第1回定例会
- 28日 議会運営委員会  
文教厚生産業委員と商工会議所との意見交換会

## 3月

- 3日 平成26年3月定例会開会  
全員協議会

## 3月

- 5日 3月定例会議案審議（～6日まで）
- 10日 総務建設環境委員会  
文教厚生産業委員会
- 11日 新年度予算審査特別委員会（現地調査）
- 12日 新年度予算審査特別委員会（～18日まで）
- 19日 3月定例会一般質問（～24日まで）
- 26日 3月定例会委員長報告・議案審議・討論・採決・閉会  
全員協議会
- 27日 杵藤地区広域圏組合議会2月定例会閉会

## 行政視察受入状況 (平成26年1月～3月)

1月16日 福岡県大刀洗町議会

1月21日 徳島県三好市議会

1月22日 山口県下関市議会

1月23日 宮城県塩竈市議会

1月24日 群馬県館林市議会

2月5日 和歌山県田辺市議会

## 議長交際費を公表します。

金額単位：円

区分	1月		2月		3月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔慰	0	0	0	0	0	0	0	0
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝儀	2	10,000	0	0	0	0	2	10,000
会費	3	12,000	3	14,000	1	3,000	7	29,000
接遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	5	22,000	3	14,000	1	3,000	9	39,000

## 編集後記

3月議会は予算委員会での議論が活発に行われました。ケーブルテレビによる放映はありませんが、活発な議論が行われたことをご報告いたします。私たちの議会だより編集委員の任期は今回までとなりました。1年間ミス無きよう配慮し編集したつもりですが、ご満足いただく紙面とならなかったかもしれません、ご容赦くださいませ。

### 【編集委員】

委員長 福井 正  
副委員長 水頭 喜弘  
委員 勝屋 弘真  
顧問 松本 末治

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。

